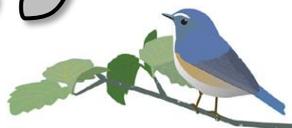


# ネイチャーセンターだより



2・3月のみどころ



## 【2月】

厳冬期を迎え、風蓮湖はほぼ全面結氷します。風蓮湖や温根沼では、厚く張った氷に穴をあけて魚を取る、伝統漁法の氷下待ち網漁が行われます。この漁を目当てにオオワシとオジロワシが集まってくるため、ワシ達が最も見やすい時期になります。草原には、ベニヒワ、ハギマシコ、たまにユキホオジロやツメナガホオジロが草の種を食べにやってきます。夕暮れには、コミミズクが姿を見せてくれるかもしれません。



にらみをきかすコミミズク

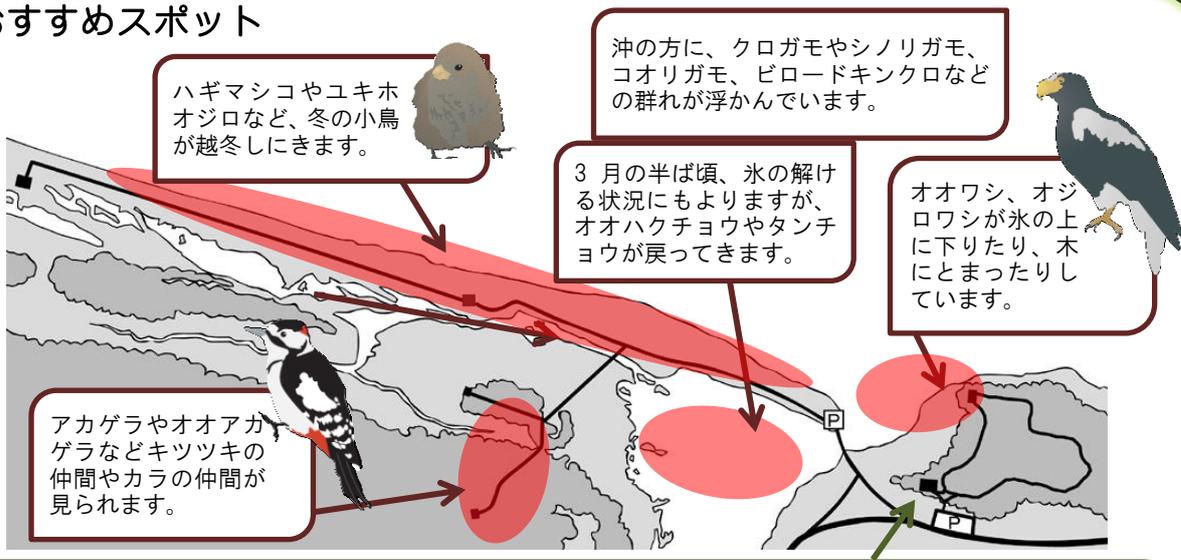


越冬地から戻ってきたタンチョウ

## 【3月】

風蓮湖の氷が徐々に緩くなり、水面が開いたところに北上を目指すオオハクチョウが本州などから春の渡りで戻ってきます。ワシたちも北上をはじめ徐々にその数を減らしますが、下旬ごろまで観察することができます。解氷が進む中旬にはタンチョウも越冬地の釧路方面から戻ってきます。シジュウカラなど森の小鳥たちもさえぎり始め、少しずつ春の気配が感じられるようになってきます。

## おすすめスポット



### 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

# トピックス

## ベニヒワのあたり年

冬に北海道などに渡ってくる鳥たちの中に、ベニヒワやハギマシコといった体の一部が赤っぽい色をした小鳥がいます。スズメ大かそれよりも小さい鳥たちですが、群れで草原から大勢で移動する時などはかなり目立ちます。

これらの小鳥たちは毎年繁殖地から越冬地へと移動をしますが、その年の気温やエサの状況などで、渡ってくる数が大きく変わります。額に日の丸のような赤い模様があるベニヒワは、大きな群れが来る周期があるといわれ、この5年ほどは、根室ではほとんど見られませんでした。

今シーズンは、このベニヒワがたくさん根室に渡ってきています。新酪農道路や落石岬、春国岱、温根元などで、それぞれ100羽くらいの群れが観察されています。レンジャーが確認した群れは、煙のように草原から舞い上がっては、舞い降りてエサをついばむといった行動を繰り返した後、いくつかの群れが集まって、電線にズラッと並んでにぎやかにおしゃべりをし、最後に、またいくつかの群れに分かれて飛び去って行きました。

小鳥たちがたくさん来てくれたおかげか、それを食べるケアシノスリも昨年よりよく見られています。反対に、キレンジャクやカワラヒワなどあまり見かけない鳥もいますが、今年も、冬鳥がにぎやかになるシーズンが訪れています。



ヨモギの茎にとまるベニヒワ

## 春国岱クイズ

「木をつつく」という名を持つキツツキの仲間には、アカゲラ、コゲラなどの種がいます。さて、どうして「〇〇ケラ」という種名がいたのでしょう？

(A、Bの中から答えを選んでください。  
ヒント：キツツキの食べる虫を、「ケラ」と言っていたそうです。

- A. 鳴き声が「ケラツケラツ」と聞こえるから
- B. 古語の「テラつき」「ケラつき」を略した



答えは次号に掲載します。(先月号の答え…A)

## いきもの図鑑



英名 Common Raven 学名 *Corvus corax*

ワタリガラス(カラス科)  
冬に見られるカラスの仲間です。名前の通り、ロシアなどから北海道に渡ってきます。普段見かけるカラスと姿は似ていますが、鳴き声が独特なので見分けることができます。魚や動物の死骸を食べます。エゾシカが増えた頃から、北海道に来る数が増えてきているといわれています。

# レポート

## フィールド講座①風蓮湖にすむアザラシの暮らし

1月11日、風蓮湖や春国岱の様々な生き物や自然について専門家からお話を伺うフィールド講座を開催しました。冬に氷の上でくつろぐ姿がみられるゴマフアザラシの分布や暮らし、北海道での現状などについて、東京農業大学オホーツクキャンパスでアザラシなどの海獣類の研究をされている小林 万里 准教授から、写真や図表を見せていただきながら教えていただきました。



多くのアザラシは、冬になると北海道より北や北方四島などから北海道の沿岸にやってくることで、夏になるとほとんどが元の場所に戻るのに、風蓮湖や野付半島には夏もアザラシがいること、流氷などが減り、冬季のアザラシの行動が変化したため道北のアザラシがどんどん増えていっていることなど、アザラシの暮らしについての興味深いお話が伺えました。そして、風蓮湖が道内でも数少ないアザラシの越夏地という、貴重な側面を持っていることも知ることが出来ました。

## レンジャー日記

今シーズンは、久しぶりに自然学習林などでエゾリスの姿がよく見られています。エサ台には、最初1頭ずつ来ていたのですが、しばらくすると時々ですが、2頭同時に姿を見せるようになりました。



2頭は、仲良く一緒に食べるというわけではなく、いつもある程度の距離を保っています。一方が食べている場所に、食べ物を取りにもう一方がこっそり近づいたりすると、ちょっとした小競り合いが起きます。でも、いつも喧嘩をするわけではないようで、食事時以外は、木の枝に2頭並んで毛づくろいをしている姿も見られます。【記：レンジャー手嶋】

## NEWS

### ねむろの野鳥イラストコンテスト作品展 開催！

根室や別海の小中学生からご応募いただいた103点の野鳥のイラストを、根室バードランドフェスティバル期間から（1月27日（月）～2月11日（火））ネイチャーセンターで展示します。合わせて、受賞作の発表と表彰式（2/1予定）も行いますので、ぜひ子供たちの力作をご覧ください。フェスティバルの詳細は、ホームページをご覧ください。<http://www.nemuro-kankou.com/events/birdfes.html>



※ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）でお送りしています。経費削減のためメール配信にご変更いただける方は、春国岱ネイチャーセンターにお名前とメールアドレスをご連絡ください。ご協力お願いいたします。 春国岱ネイチャーセンター：nemu\_nc@marimo.or.jp

# 行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
12/20～2/2 9:00～16:30	クラフトコーナー 貝殻や木、木の実などをくっつけたり、色をぬったりして自由に工作することができます。	無料	事前申込不要 ※開館時間中はいつでもご参加いただけます。
2月2日（日） 8:00～10:30	ワシわし ウォッチング 越冬のために風蓮湖・春国岱にやってくるオオワシ・オジロワシを観察します。 ※風蓮湖の氷の張り具合で観察場所・内容を変更することがあります。	100円	1/28（火）までに春国岱ネイチャーセンターにお申込みください。 集合：春国岱ネイチャーセンター 対象：小学生以上（小学生は保護者同伴） 定員：20名（先着順）
3月16日（日） 10:30～12:00	フィールド講座② 「冬に大集合 カラの暮らしの秘密」 市内の公園などちょっとした森にもすんでいる、なじみ深い小鳥シジュウカラなどカラの仲間の暮らしについて、外山雅大 学芸員からお話を伺います。	無料	3/7（金）までに春国岱ネイチャーセンターにお申込みください。 会場：春国岱ネイチャーセンター 対象：一般 定員：20名（先着順）

## 根室バードランドフェスティバル 開催！

これまでに 360 種もの野鳥が見られている「野鳥の楽園」根室で、野鳥の魅力・楽しさをお伝えするイベントを1月27日（月）～2月 2日（日）に開催します。根室市観光インフォメーションセンターや春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターを中心に、第4回ねむろバードソン、講演会・交流会、特別シャトルバスの運行、ネイチャークルーズ、ワシわしウォッチング、ねむろの野鳥イラストコンテスト展、オオワシ写真展、手作りクラフトコーナー、活動紹介展などを開催します。詳細は <http://www.nemuro-kankou.com/events/birdfes.html> をご覧ください。

## ボランティア マナーを守って…

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループスンクと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。気軽にお問合せください。

◆対象：高校生以上

◆会費・保険料（年間）：

フィールドボランティア 300円

ボランティアグループスンク 1500円

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



### 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆2月の休館日：5、12、13、19、26日

◆3月の休館日：5、12、19、24、26日

◆2・3月の開館時間：9:00～16:30

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。（要 事前申込）